

(様式1)

院長	副院長	看護部長	技術部長	事務部長	課長	課長補佐	係長	係
								

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和7年4月25日提出

国保依田窪病院長 様
倫理委員会委員長 様

申請者

部署 診療部

氏名 城下 智

部署長 滝沢 崇

部門長



※ 受付番号 No.

1. 課題名	下り搬送患者の自宅退院可能性を予測する意思決定支援システム（DSS）の構築に関する研究
2. カテゴリー	☐ 疫学的な調査のための臨床研究 ☐ 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 ☐ 学会等提出論文 ☐ 委託研究または製造販売後調査 ☒ その他（ 後ろ向き観察研究 ）
3. 実施責任者名	国保依田窪病院 病院長・内科 城下 智
4. 実施分担者名	
5. 医療の概要	実施期間 倫理委員会承認日 ～ 2026年 3月 31日 まで 概 要 下り搬送患者の自宅退院の可否を予測するシステム（DSS）を構築することにより、早期退院支援の質向上、広域型病院の病床逼迫緩和、地域救急医療体制の持続可能性確保に貢献する。
6. 医療の対象並びに実施場所	対象例数 約300例 医療対象 2024年1月1日から2025年3月31日までの間に、信州上田医療センターから国保依田窪病院へ「下り搬送」として受け入れ、転帰が確定しているすべての入院患者。 実施場所 国保依田窪病院
7. 実施計画書	別添のとおり。
8. 医療における倫理的、社会的配慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 添付のとおり。 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 添付のとおり。 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 添付のとおり。 (4) その他
9. 審査資料	☐ 実施計画書 ☐ その他 ☐ 同意説明文書及び同意書

- 注意事項 1 1～5は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。
2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。（別添資料添付漏れのある場合審査できません。）
3 ※印は記入しないこと

1. 研究課題名

下り搬送患者の自宅退院可能性を予測する意思決定支援システム（DSS）の構築に関する研究

2. 背景と目的

国保依田窪病院は、長野県上小地域において地域医療および二次救急輪番病院として重要な役割を担っているが、主に内科および整形外科を中心に診療を行っており、重症例や対応困難症例については、信州上田医療センターが後方支援を行っている。

しかし、信州上田医療センターではベッド満床の状態が慢性化しており、年間約 1,000 時間の「救急止め」時間が発生するなど、地域救急医療体制の逼迫が深刻な課題となっている。この状況を踏まえ、2024 年より信州上田医療センターで急性期治療を終えた患者を、国保依田窪病院が受け入れる「下り搬送」を開始した。対象となるのは主に後期高齢者であり、退院先は自宅、施設、再転院、または死亡など多岐にわたる。本研究では、これらの患者の入院時情報から自宅退院の可否を予測可能な因子を抽出し、DSS（Decision Support System）に実装可能なロジックの構築を目指す。これにより、早期退院支援の質向上、広域型病院の病床逼迫の緩和、地域救急体制の持続可能性確保に貢献することを目的とする。

3. 研究方法

3.1 研究デザイン

後ろ向き観察研究（retrospective observational study）

3.2 研究対象

2024 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの間に、信州上田医療センターから国保依田窪病院へ「下り搬送」として受け入れ、転帰が確定しているすべての入院患者。

3.3 収集項目

基本情報：年齢、性別

臨床情報：入院時の主診断、入院期間

機能指標：看護必要度（B 項目：入退院時）、FIM スコア（入退院時）等

検査データ：当院入院後に実施された血液・尿検査（例：CRP、Hb、Alb、eGFR、Na、K、尿蛋白、尿潜血）等

退院先分類：自宅、施設入所、再転院、入院中死亡

3.4 解析方法

自宅退院の可否を目的変数とし、単変量・多変量解析（ロジスティック回帰など）を実施する。さらに有意な因子を抽出し、それらをもとに DSS ロジックの構築を行う。DSS 構築は、アボットジャパン合同会社との共同研究として実施し、<https://jaclas.or.jp/Product/index?id=88431> に記載された DSS システム技術を参考

とする。

4. 研究期間

倫理委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日

5. 倫理的配慮

- 本研究は診療情報を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな介入を伴わない。
- 研究対象データは匿名化処理を施し、個人を特定できる情報を含まない形で解析を行う。
- データは国保依田窪病院内のアクセス制限された専用端末にて管理し、外部との共有が必要な場合には、個人が特定されないよう匿名化した数値データに限定して提供する。
- アボットジャパン合同会社との共同研究においては、DSS 構築のため、匿名化済みの研究用データをアボット社へ提供するが、個人識別情報は一切含まない。データは院内のアクセス制限された専用端末にて厳重に管理する。
- 本研究は、国保依田窪病院倫理委員会の承認を得た上で実施する。
- 院内掲示および病院ホームページを通じて研究実施の旨を周知し、対象者に対してオプトアウトの機会を提供する。
- なお、本研究には企業からの資金提供（アボットジャパン合同会社より国保依田窪病院への研究費支出）が含まれるが、研究の設計・解析・結果の解釈における独立性は維持される。利益相反（COI）については、適切に申告・管理される。

6. データ管理・保存期間

収集データは解析終了後、3 年間院内にて保管し、その後は復元不能な形で適切に廃棄する。

7. 研究体制

研究代表者：城下 智（国保依田窪病院 内科 病院長）

共同研究者：〇〇（アボットジャパン合同会社）

← 氏名 入り 済 可 可 7

8. 研究体制

本研究はアボットジャパン合同会社との共同研究として実施され、研究費は同社より国保依田窪病院に支払われる予定である。支払われた研究費は、データ収集・解析および DSS ロジック構築に係る研究活動に充当され、適切に管理される。